

# The Learner

Doshisha International Academy, Elementary School

March  
ISSUE



March, 2020

Volume 100

## Message from the Head of Schools

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19: Coronavirus Disease 2019)

今年の1月11日に中国での感染が報道されて以来、1月25日には4桁の、そして、2月1日には5桁の感染者数が報告された。世界的にも感染が広がっており、2月19日には中国以外でも4桁の感染者数となっている。日本でも感染者数は増え続けている。感染症の理解のために、数理モデル（例えばSIRモデル (Susceptible-Infectious-Recovered)）による解析の研究も行われており、感染率、回復率、隔離率、潜伏期間や死亡率の情報などが得られると、終息の時期の予想も可能となる。これまでの異なるコロナウイルスが原因のSARS (Severe Acute Respiratory Syndrome) やMARS (Middle East Respiratory Syndrome) に比べると、潜伏期間はあまり変わらないが、致死率が低い。ただ、感染の規模が格段に広がっていることから注意が必要である。

現在、多くの集会が中止または延期となっている。私が参加を予定していた日本化学会第100回春季年会を始め、主だった学会はほぼ中止となっている。封じ込めに成功すれば、オリンピックも開催の運びになるだろうと思われる。この1~2ヶ月が勝負である。2月27日の部長会で同志社大学の卒業式の中止が決定した。

SARS や MARS と同様に有効な薬が無くて対処療法となること、ワクチンがまだできていないため、効果的な予防ができないことが問題である。

ウイルスは口や鼻などの粘膜を通して感染するので、その対策をしっかりと行っておれば感染の恐れは少なくなる。対策として、手洗い、アルコール消毒やうがいをしっかりとすることなどは必須であり、ウイルスを体内に入れたり、粘膜に付着させたりしないことが必要である。不特定多数が触れるところを触ったときには、その手で目をこすったり顔を触ったりする前に手をしっかりと洗うなどの気遣いが必要である。さらには体力をつけておく（抵抗力の弱っている状態が危険）ことが重要である。体が弱っていたり、持病があったりすると、ウイルスの影響で重症化しやすくなる。規則正しい健康的な生活を心がけるべきであろう。

一方、マスクを着用することに関しては賛否両論があるが、咳エチケット、もしくは人にうつさないためには必要と考えられる。

政府が、3月2日以降の休校措置を、全国の小中高校に要請した。同志社国際学院でも、3月2日から休校とすることにした。卒業式、入学式については同志社小学校と歩調を合わせて進めていきたいと考えている。まだ予断を許さないもので、はっきりとしたことは言えないが、様々な行事に対して、より安全に振れた開催を検討したいと考えている。

注意したいのは、休校であるという事は、感染に対する予防的措置であるということである。それぞれのご家庭でも、新型コロナウイルスの感染が起こらないように、分別ある行動をお願いします。

校長 太田哲男





## キリスト教 教育テーマ

### 3月：赦し March: Forgiveness

「神を愛する者たち、つまり、ご計画に従って召された者のためには、  
万事が共に働いて益となるということを、私たちは知っています。」

(聖書協会共同訳 ローマの信徒への手紙 8章 28節)

皆様はアイザック・ニュートンという人の名前をよく御存じかと思います。17～18世紀に近代科学の基礎を築いた、イギリスの物理学者であり数学者です。今回は、私がひょんなことからこの人の生涯に関心を持つに至ったいきさつを、お話ししたいと思います。

私が大学生の頃は、自分の学部の特科科目以外にも一般教養科目といって、種々の科目の中から最低これだけの単位数は選択して学ばなければならない、という制度がありました。こういう場合、本来なら専門外の、言わばあまり興味のない科目を無理やり学ぶわけですから、なるべく楽に単位が取れそうな科目を選ぶのが普通です。でも私は「なんとなく面白そう」という、漠然とした印象だけでニュートンを専門に研究しておられる先生の科目を登録してしまいました。ところが登録後に人から聞いたのは、この先生が非常に厳しい方で、毎年登録者の三分の二近くが成績不振で落とされる、という噂だったのです。実際講義が始まってみると、後悔するのに時間はかかりませんでした。何しろ私には恐ろしく退屈で難しく感じる内容でしたし、これを週に一回、90分も椅子に座って聴いていなければならず、しかもどのような試験問題が出るのか、皆目見当がつかなかったからです。しかしながら、わからないなりに一年間がむしゃらに講義についていたおかげで、単位を落とすことはありませんでした。が、もちろん決してすごくいい成績、というわけにはいかず「この科目さえ取っていなければ、もっと平均点が上がったのに。」と、その後何度も思いました。今となっては30年以上も昔の話になります。

ところが今から12年前、日常生活ではニュートンのことなどすっかり忘れていた頃に、家庭の事情でイギリスのケンブリッジ市に一年間住むことになり、そこで私は思いがけずニュートンに再会しました。ケンブリッジ大学はニュートンが学生として学び、後に数学の教授として働いた場所です。彼が学んだ「トリニティ」という名の学寮の前庭には、かの有名な「万有引力の法則」を発見するきっかけになったと言われる林檎の木の子孫が植えられています。「子孫」と申しましたのは、この木が元の林檎の木から接ぎ木をして殖やされたものだからで、「ニュートンが林檎の木から林檎が落ちるのを見て…」という、あの謂れの木はケンブリッジではなく、もう少し郊外のウールズソープ・マナーという場所にあります。ここはニュートンが生まれ育った村で、今でも彼の生家は当時に近い状態で保存されていますし、林檎の木もあちらこちらで、たわわに実を实らせています。

ニュートンの実家は農家でした。本来ならば農家の跡取りとして、ここに一生住むべき人だったのですが、学問好きな彼の才能を見抜いた牧師の叔父に進学を勧められ、少し離れた町の上級学校へ進み、更にはケンブリッジ大学で学ぶことになったのです。そういうわけで、ニュートンが日頃生活し研究をしていた場所は、故郷の村から離れたケンブリッジ市でした。それならばなぜ大発見のきっかけになった、かの有名な林檎の木が当のケンブリッジ市ではなくウールズソープ・マナー村にあるのか、という話になります。実はニュートンが大学の卒業を間近に控えた頃、ロンドンで伝染病のペストが大流行しました。このペストの猛威がじわじわとケンブリッジにも近づいてきたので、急遽大学は閉鎖されることになったのです。伝染病の脅威自体は決して過去のものではありませんが、有難いことに今の時代はすぐに有効なワクチンや治療薬が開発されるので、流行も比較的短期間で終わりますし、殆ど人の命には至りません。しかしながらニュートンの時代はそうはいかず、ペストが完全に収まるまで丸二年かかりました。この大学が再開されるまでの二年間、ニュートンは言わば「仕方なく」彼の実家があるウールズソープ・マナー村に籠っていたことになりました。

ところが八十四年に渡るニュートンの生涯のうちで、この故郷の村で足止めをくらっていた二年間、正確に言うとはんの一年半ほどの間に、彼は世紀の大発見を三つもするのです。一つは先ほども挙げましたが「万有引力の法則」で、実家の前に植えられていた林檎の木から林檎が落ちるのを見てインスピレーションを受けたと言われていました。もう一つはプリズムを使って光の性質を発見したこと、あとの一つは微分・積分法で、当時としては新しかった数学の方法です。たった一年半の間にこれだけの発見ができたのは、ニュートンがもともと優秀だった、というよりは天才だったからでしょう。しかしながら、もしペストの流行という災禍がなくて彼が故郷には戻らず、毎日平穩に大学に通っていただけだったとしたら、もしかするとその天才ぶりは埋もれたままになっていたかも知れず、従って近代科学の発展も今よりは遅れていたかも知れません。

人生には時として「あまり有難くないお休み」が、訪れることがあります。怪我や病気でしばらく外へ出られなかったり、受験に失敗して人より一年も二年も出遅れてしまったり、あるいは自分に子どもができた時や両親が年を取って介護が必要になった時に、今までしていた仕事を中断しなければならなくなった…という具合です。人は自分が目的とするものに向かってひたすら歩んでいる最中に何かの理由で足止めをくらうと「これは邪魔だ」、「無い方が良い」と、考えがちです。学生時代の私が「ニュートンの講義なんか、取らなければ良かった。時間の無駄だった。」と思ったのも、当時はその科目の成績が他の科目の足を大きく引っ張って、損をしたと感じたからです。でも、その後三十年近くも経ってから、私は思いがけずニュートンの生家を訪ねる機会に恵まれました。今でも最寄りのバス停に来るバスは一日数本という不便な場所への観光など、過去にニュートンの講義を受けていなければ、考えられなかったと思います。私はこの地へ立った瞬間、遅ればせながら彼の偉大な功績に気が付きました。そして天才と呼ばれる人でも一人の人間としてこの世に生を受け、神の偉大な摂理の中で生かされたのだ、ということ学びました。そのように今見えていなくても、後の人生で明らかになることは、たくさんあります。

学校現場には喜怒哀楽が溢れています。中には「こんなことは起こってほしくなかった。」という類の出来事も、あることでしょう。

でも、今は「有難くない」と感じる出来事であっても、それはもしかすると、神様がわたし達に何か特別なことを伝えようとしておられる、大事な時期であるかもしれません。しっかりと心の目を開き、心の耳を研ぎ澄ませていれば、ニュートンながら「そうか、だからあの時期が必要だったのだ。」と納得し、互いに微笑みを交わす日は、必ずやって来ることと信じています。どのような時期にあっても、わたし達は子ども達に希望を託し、たゆまずに歩んでいこうではありませんか。

Christian Education Committee 石川眞弓

※以上は二年前に本校で開催された「第6回西日本小学校教職員協議会」の閉会礼拝で、筆者が行った奨励内容です(多少加筆・修正あり)。今の時期にもう一度自戒を込めて掲載させていただきました。もしどなたかの励みになれば、嬉しく思います。

<お知らせ>

- ・3月に予定されていた「東日本大震災を憶える礼拝」は、中止になりました。
- ・「おにぎり献金」の集計と施設への寄付は年度内に行いますが、報告は新年度が始まってからになります。
- ・一年間、保護者の皆様の暖かいご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございました。



## 国語の教科書教材から本へ ② ～シリーズを読んでみようキーツさんの本から～

皆さんは「好きな作家は？」と聞かれたらどう答えられるでしょうか？多くの素晴らしい作家さんが浮かびますが、私はその中の一人にエズラ・ジャック・キーツさんがいます。彼は1916年ニューヨークの下町に生まれ、独学で絵を学びます。一連の黒人の少年ピーターが主人公のシリーズの初めの本、『ゆきのひ』でコルデコット賞を受賞し以後、『ピーターのいす』『ピーターのくちぶえ』『ピーターのがみ』『ピーターのめがね』等、黒人の少年を主人公にした絵本を次々に発表します。

(コルデコット賞: 1年間にアメリカで出版された絵本の中で最も優れたものに送られる賞)



コルデコット賞を受賞した『ゆきのひ』はキーツの作品の中でも貼り絵の技法がひと際効果的な、シンプルであるけどとても印象に残る美しい絵本です。(雪の中に立ったときのピーターのわくわくした気持、とめられない好奇心などが画面から直接伝わってきます。小さい子や大人も関係なく雪の美しさに感動するでしょう。以前授業で、この絵本を読み聞かせした後、子ども達と水色の画用紙の上に白、赤、黄色…のチョークの粉を使ってキーツさんの雪の世界を真似て遊んだことがあります。雪の山を白だけでなく他の色を使って描くキーツさんのセンスに感動した記憶があります。

つづく『ピーターのいす』は1年生の国語の教科書にも入っていたお話です。ピーターのものだったゆりかごも、食堂いすも、あかちゃんベッドも、妹のためにピンクに塗られていきます。ピーターが、妹スージーの存在と、両親の変化に戸惑いながら、自分の成長を受け入れてくお話です。壁いっぱい大きく花が描かれた壁紙や、葉の模様のカーテン、あかちゃんにかけられたレースなど、コラージュの手法でつくられた絵は、色あざやかで心ときめくものばかりです。(実は和紙も使われているのですよ) 授業でこのお話を1年生と楽しんだ後、Learner profileでは何だと思う？その理由は？と子ども達とディスカッションしました。

その後の『ピーターのくちぶえ』『ピーターのめがね』と主人公のピーターが少しずつ大きくなって登場していたり、ピーターの愛犬ウィリーが毎回登場したりしているのを見られるのもシリーズを読む楽しさです。

キーツの絵本は2月号で紹介させていただいた『ふたりはともだち』と同様に、巷に溢れている本に比べてなかなか子ども達が自ら手に取ってくれにくい本でもあります。だからこそ、この本も子ども達に関わることでできる大人が手渡さなければならない本のひとつであると思います。是非ご家族と一緒に本を話題に楽しいひと時をすごしていただければと思います。

(司書教諭 上里 久美)

## 3月の主な行事・予定

1	日	
2	月	臨時休業開始(～19日)
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	
10	火	
11	水	卒業式
12	木	
13	金	
14	土	
15	日	
16	月	カンフェリス(希望者対象)電話にて実施～19
17	火	学びの記録 発送
18	水	
19	木	
20	金	春分の日 春休み開始(～4月7日)
21	土	
22	日	
23	月	
24	火	
25	水	
26	木	
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	
31	火	

## 4月の主な行事・予定とお願い

4月6日(月)編転入生オリエンテーション  
8日(水)始業礼拝(午前授業)  
10日(金)入学式

\* 新型コロナウイルスの感染拡大の状況によっては、行事予定が変更される場合がありますのでご了承ください。  
\* 臨時休校中、及び春休み中は、人の集まる場所等への外出を避け、基本的に自宅で過ごすよう重ねてお願いいたします。また、ご家庭内でどなたかが感染された場合、関係機関への報告と共に学校にもご一報いただきますようお願いいたします。